

第 126 回番組審議会議事録

(株) 中国コミュニケーションネットワーク

- 開催日時 2025年8月7日(木) 午前11時
- 開催場所 中国経済クラブ(中国新聞社8階)

■ 出席者

① 委員側

- ・ 出席委員 5人
木谷 健(比治山学園理事長)
牛来 千鶴(ソアラサービス代表取締役社長)
中川 圭(乳がん患者友の会きらら理事長)
中川 元慧(浄土真宗本願寺派善正寺住職)
道面 雅量(中国新聞社文化担当部長)
- ・ 欠席委員 2人
向井 良(弁護士)
吉田 朋子(和奏光夜実行委員会代表)

② 会社側出席者 2人

- 社長兼放送局長 小見山 文男
- 制作担当 渡邊 康美

■ 議題

- ・ 開会あいさつ
- ・ 番組試聴「デュークシーR」
- ・ 委員の感想、意見
- ・ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告
- ・ 質疑応答、その他

◇ 試聴番組「デュークシーR」(2025年7月25日放送)

広島市で活動するギタリストの山下ともてるがMCを務める音楽番組で、金曜日午前11時～午後2時に放送中。多彩なゲストを招き、生演奏も交えながら音楽のさまざまな話題を取り上げます。

<番組に対する委員の意見・感想>

- ・ 番組内容はFM放送らしい。ただ、昼の放送より夜の方が向いている。番組内で生演奏する機会は少ないと思うが、機会を提供するというFM局として大切な役割を果たしている。スポンサーがついて番組が発展することを願う。
- ・ 広島はスポーツが盛んだが、音楽となると「後進都市」だと思う。岡山市にはフェスティバルホールがあるのに、番組でバンドを紹介するのはいいことだ。いいバンドがあるだけに、表に出る絶好の機会となっている。MCは素人にし

ては上手だ。自信を持って音楽番組を続けて欲しい。

- ・ 聞きやすい声だ。内容に中身が少々足りない印象だが、試聴用の切り取り方の問題だろうか。生放送で生演奏を披露するのは、なかなか冒険している。その生演奏をもっと聴いてみたい。
- ・ ギタリストのパーソナリティーは面白い。この番組で、広島でも活動するプロミュージシャンがいると知った。しかも、ロックとは新鮮だ。番組内の紹介コーナーは広島のミュージシャンを応援するいい機会だと思う。アマチュアバンドも紹介したらどうだろう。彼らの中にはSNSで発信する人もいて、番組の宣伝にもなるはず。
- ・ トークのテンポに問題はあるが、ゲストの魅力が盛り上げにはつながっている。ゲストが内輪になりすぎない、仲間に偏らないように工夫した方がいい。MCだけの人脈に頼らないことだ。広島市は音楽専門のホールがないため、大物ミュージシャンの通過都市になっているが、ライブハウスのインディーズバンドの実力は全国有数と聞いている。メジャーデビューを目指すインディーズバンドを紹介する場として機能すれば、貴重な番組となる可能性を秘めている。

◇ 訂正や苦情の報告と前回以降の業務報告

- ・ 訂正やリスナーから番組に関する苦情はありませんでした。
- ・ 広島みなと夢花火大会の中継放送を7月26日(土)午後7時半から午後9時まで放送しました。

以上